

平成21年度 坂城高等学校 学校評価報告書

学校運営方針： 地域と社会に貢献する人材の育成
豊かな知性と情操を身につけ、地域・社会の有為な構成員となる健全な人格の育成を期する。

NO	重点目標	項目	評価項目	自己評価	評点	評点	学校関係者評価	改善策	
1	学習・進路	学ぶ楽しさを実感し、進路の実現できる学校づくり	1-1	わかる授業の実践による基礎学力の定着	授業アンケートを夏と冬の2回実施し、授業に対して生徒が積極的に関わるように計ったが、アンケートでは「わかりにくい」という回答が増えた。	3.0	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートの結果を生徒に示す取り組みは評価できる。生徒が授業改善を実感できるようにして継続を。 総合学習への満足度は生徒、保護者とも高い。坂高の特長としてこの方向でさらに充実を。 授業への取り組みが不十分な生徒への指導をしっかりとすべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導委員会を中心として授業内容や指導法についての職員の研修を実施し指導体制を充実する。 学校設定教科の研究を継続し、導入について検討を行う。基礎学力育成のためのSHRなどでのドリル学習を検討する。
			1-2	将来を見据えた教育課程の構築	地域の特性を生かした学校設定教科の導入を検討したが、来年度の導入は困難という結論になり、習熟度別授業の検討も深まらなかった。				
			1-3	特徴ある総合学習の構築	「3C」を中心に据えた総合学習が定着し、各学年でさらに充実した取り組みが見られた。				
			1-4	進路指導の充実	2年生全員が夏休みに就業体験を、1年生全員が坂城町内を主に企業見学会を実施した。補習授業の計画と実行が十分には出来なかった。				
2	生徒指導	落ち着いた生活できる校風づくり	2-1	基本的な生活習慣の確立	遅刻に関する出席のきまりを改訂したため、全体として授業への出席は向上したが、教室内での授業に対する姿勢の指導は行き届かなかった。	2.8	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 安心して学ぶ環境作りができています。マナー面でも以前に比べ落ち着いてきている。 生徒からは服装頭髪の指導について「きびしい」という声も多いが、現在の指導体制を継続してほしい。 トイレの整美状況を改善してほしいという声が多いので、対処してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝のSHRで読書やドリル学習を行い落ち着いて学ぶ雰囲気を作るようにする。 家庭との協力関係を強固にして、引き続きマナーの向上につとめる。 トイレなど校内の環境整備について、100周年事業とも連携し、学校・PTA・同窓会の連携で進めていく。 張り紙やポスターを作成し校舎内の美化を呼びかける。
			2-2	交通ルール・マナーの向上	年4回の通学路の指導と、坂城駅の駅頭指導も定期的に行い、マナーの向上に努めた。				
			2-3	安心して学べる環境と集団作り	職員による校内の巡視指導の実施と、校舎内外の清掃活動による環境美化の推進をはかったが、指導が行き届かない面が目立った。				
			2-4	個々の生徒に応じた指導態勢作り	特別支援教育スーパーバイザーの協力により、指導体制と職員研修を充実させた。特別な支援を要する生徒の就労支援を実施した。				
3	特別活動	生徒1人1人が自己を見つめ、力を発揮できる学校づくり	3-1	HR・行事を通じた人間形成、集団作り	文化祭や予備会などでクラス・学年単位の集団で取り組む制作・発表が充実したものになった。	3.0	2.9	<ul style="list-style-type: none"> クラブ活動への関心が低く、加入状況もよくない。学校の活性化のポイントとなることなので現状を分析し、改善出来るようにすべきである。 校外学習や生徒会行事への満足度は高いが、昨年比でいうと消極的な意見の生徒も増加している。分析して対処するように。 	<ul style="list-style-type: none"> 充実してきた部分は継続して取り組みを続けていく。 クラブ活動については、生徒へのアンケートを実施し、意識調査を行う。
			3-2	生徒会活動を通じた人間形成、集団作り	生徒会が主体となった「千曲川シネマフェスタ」が成功し、地域社会からも高い評価を得た。				
			3-3	クラブ活動を通じた人間形成、集団作り	活発に行われているクラブ活動も一部あるが、全体として加入率が低く、検討課題となっている。				
4	連携	保護者・地域に信頼される学校づくり	4-1	PTA活動・同窓会の充実	同窓会は100周年を前に活動の充実をはかった。PTAは夏の町内祭前日に通学路清掃を行うなど、行事の充実をはかった。一方、アンケートでのPTA活動が充実しているという回答が減っている。	2.9	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 信頼される学校として家庭、地域との結びつきの充実を。 家庭への連絡が滞りがちなので情報伝達方法についてWEBの利用など工夫をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 100周年事業への学校職員の関わりを増やし、協力体制を整える。 PTAの事業について保護者の参加が増えるような工夫をしていく。 家庭への連絡方法として年数回の郵送を実施するとともに、ネット・メール利用が可能か研究していく。
			4-2	地域や教育機関との連携強化	長野大学に加え、埼玉工業大学とも提携を結び、坂城町・地元企業との産学官の連携をすすめた。				
			4-3	授業公開の充実	5月・11月に公開授業を実施した。中学生向けの体験入学は参加者が増加した。				
			4-4	学校評価制度の利用	全職員による中学訪問を複数回実施し、中学への働きかけを強めた。保護者への学校ホームページの認知度はやや高まったが、情報発信元として認識は不足である。				

評点は次のように四段階で実施したものの平均値

4 十分満足 3 やや満足 2 やや不足 1 不十分